

あなたと議会

鹿沼市一般会計予算ほか
42議案を可決しました!!



2016
191号
5月25日発行



市政を問う
議会からあなたへ



関東・東北豪雨災害
復旧状況について伺う



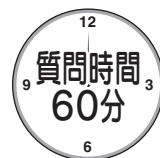
質 問
土木災害復旧事業について、進捗状況を伺う。

答 弁（都市建設部長）
164か所の災害復旧作業を実施しました。

国の補助事業として申請した災害箇所は、笹原田内の市道0009号線など道路災害が5か所、楡木地内の金比羅橋など橋梁災害が5か所、下武子町地内の準用河川西武子川など河川災害が14か所、黒川緑地など都市災害が3か所の合計27か所です。進捗状況は、準用河川西武子川など15か所の契約が済み、3月には黒川緑地など8か所の工事発

市政を問う

第1回定例会で17人が登壇
鹿沼市政について質問をしました。



注を予定しており、平成27年度中に23か所が契約となる見込みです。また、栃木県治山事業の完了後に工事を実施する市道0009号線を含む4か所は、平成28年度に工事を発注する予定です。

それ以外にも崩落した路肩や法面の復旧、河川の埋塞土砂の撤去、被災者支援として取り組んだ宅地内土砂の搬出など、2月末時点で164か所の災害復旧作業を実施し、さらに、職員が主となり、被災直後から危険箇所における安全対策や通行止めへの措置、土嚢の配布など災害復旧に向けた対応を実施しました。



鹿沼運動公園の整備について伺う



質 問

陸上競技場のトラック及び周辺設備の整備について伺う。

答 弁（教育長）

現在、トラックの整備工事を実施しています。

鹿沼運動公園は総合的な運動施設として昭和51年から昭和57年にかけて整備されました。陸上競技場は、土質7レーントラックで公認規定では第4種の競技場となっています。その公認を継続させるため、トラックの整備工事を実施しています。栃木県内では、8市が全天候型の公認陸上競技場を備えており、今後、関係団体等の意見を聞き

ながら、全天候型トラックの整備を検討していきたいと考えています。

また、テニスコートの老朽化が著しいため、平成28年度に改修経費を計上しました。市民が利用しやすく、親しまれる施設になるよう遊具の修繕やトイレの洋式化にも取り組み、既にテニスコートと野球場では洋式トイレの整備をしました。

今後とも、市民が安心して利用できるよう、トイレの洋式化を含め、スポーツ環境の整備を図っていきたいと考えています。



エコライフの推進について伺う



質 問

学校物品有効活用システムの導入、子どもの貧困と制服のリサイクルについて伺う。

答 弁（教育次長）

全ての家庭で利用できるよう、早急に検討します。

鹿沼市では、市独自で開発した「鹿沼市学校備品管理システム」で学校備品を管理しており、不要、もしくは貸出可能な物品は、「物品超過不足連絡ファイル」で情報の共有が図られています。そのため、現在のところ新しいシステムを導入する予定はありませんが、積極的な活用が図られるよう各学校に周知してまい

ります。

制服のリサイクルについて、実施にあたっては、保護者や生徒間におけるプライバシーへの配慮が求められるほか、保管場所や管理担当者など、様々な問題があります。しかし、経済的な理由により購入が困難な生徒の家庭のみならず、子どもの成長に伴い服のサイズが合わなくなった生徒の家庭でも需要があるものと考えています。

そこで、全ての家庭が利用できるよう、鹿沼市内のリサイクル団体などの連携による制服のリユースについても早急に検討してまいります。



鈴木 敏雄 議員

(株)ナカニシの宇都宮西中核工業団地への進出について伺う



質 問

市の支援策・立地による効果について伺う。

答 弁(市長)

定住促進や中小企業への取引拡大が期待されます。

鹿沼市における企業誘致の支援策は、「企業立地促進事業補助金」で用地取得費の10分の1の補助や、工場操業後5年間の固定資産税相当額の補助により、新規操業時の支援を行っていきます。また、市内在住者を雇用する場合、1人あたり10万円を補助するメニューもあり、雇用確保に対する支援も用意しています。

立地による波及効果については、鹿沼市のリーディングカンパニーであり、世界のナカニシが宇都宮西中核工業団地へ新工場を立地、操業することにより、更なる成長、発展が期待されるなか、地域への波及効果として、新工場への雇用の増加が見込まれます。

また、それに伴い鹿沼市への新たな定住促進や市内中小企業への取引拡大及び発注の増加が期待されます。

更には、これらの要因により、鹿沼市の税収増が期待されるなど、地域経済への波及効果は非常に大きいものと考えています。



船生 哲夫 議員

「木のまち鹿沼」森林認証取得について伺う



質 問

「山の日」制定について記念事業の考えについて伺う。

答 弁(総務部長)

「山の資源に恵まれた鹿沼」をアピールする事業等を検討します。

「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」ということを趣旨として、8月11日が山の日になりました。

鹿沼市は70%が森林地域であり、石裂山をはじめ、西北部の山々、あるいは近郊にある岩山など多くの登山客が訪れる魅力ある山や高原がたくさんあります。「古峰ヶ原高原トレイルラ

ン」あるいは「横根高原の自然観察会」など、市民グループが主体となって山に親しむ様々なイベントが実施されています。

市内には、その山を源泉とした幾筋もの清流が流れ、それが田畑を潤し、市民生活を潤しています。その計り知れない恩恵を山や森林から受けているというのを再認識し、鹿沼産材の活用や山村地域の活性化なども含めて、市民のみなさんと連携し、既存のイベントを活かしながら、木のまち鹿沼とあわせて「山の資源に恵まれた鹿沼」であることをアピールする事業などを検討していきます。



加藤美智子 議員

地方創生加速化交付金事業
について伺う



質 問
ユネスコ無形文化遺産登録に関する事業について伺う。
答 弁(市長)
那須烏山市と連携し、5つの事業を実施予定です。
「下野の国二大祭り×2市」まちの賑わいプロジェクト」は、鹿沼今宮神社祭の屋台行事と那須烏山市の烏山の山あげ行事がユネスコ無形文化遺産に登録が予定されていることから、両市の地域連携をポイントにし、地方創生加速化交付金を活用していきます。事業の主な内容は、首都圏で「出前まつり」プロジェクト等」等の宣伝事業の実

施、鹿沼組子や烏山和紙など、両市の特産品を活用したコラボ商品を開発し、統一ロゴマークによる商品の販売、外国人向けトラベルサイトを活用したPRや新たな外国語ガイドブックの製作、旅行会社や鉄道会社等との連携によるツアーの実施、市外の若者に祭りを体験してもらう等の研修生の受入などです。また、登録後には那須烏山市と共同で記念事業を実施予定です。このような事業を推進していくことで、交流人口の増加や人口減少の抑制効果を目指すとともに、祭りの後継者問題を解決したいと考えています。



市田 登 議員

市庁舎建設問題について伺う



質 問
耐震補強により社会環境の変化を見極めて、基本計画の見直しを検討する考えについて伺う。
答 弁(市長)
基本計画の変更は、現在は考えていません。
新庁舎整備事業は、平成24年10月から着手をし、市民を委員とした「鹿沼市庁舎整備検討委員会」の答申や市議会庁舎整備検討委員会などの意見を反映して、平成26年8月に「鹿沼市新庁舎整備基本構想」を策定し、その後、平成27年5月に「鹿沼市新庁舎整備基本計画」を策定しました。

しかし、財政上のリスクを最大限考慮し、建設工事費の高騰が沈静化するまで、事業を延期したところです。
現庁舎における耐震補強については、老朽化した現庁舎を耐震補強しても、建物耐用年数の延長にはならず、近い将来建て替えが必要であるため、耐震補強を行うことを前提とした基本計画の変更は考えていません。
しかし、社会情勢の変化を十分に考慮しながら柔軟に床面積を見直すとともに、総事業費の削減に努め、鹿沼産材を可能な限り使用した木造木質化を図っていく考えです。



かめまブランドについて伺う



質 問

かめまブランド品について伺います。

答 弁（経済部長）
現在、36品目を設定しています。

かめまブランドとは、市内の事業者が地場産物を原料として優れた技術・技能等で生産・製造した商品を設定し、本市の知名度やイメージを向上させ、地域産業の振興を図ることを目的とし、現在36品目を設定しています。

まず、全国や世界に向け市の知名度やイメージの向上が図れ、流通体制や積極的な発信力が備

わった商品などを「厳選！鹿沼ブランド品」として14品目認定

また市民に愛され、土産や贈り物などにも活用され、かつ鹿沼市への誘客が可能であり、販売手段が整っている商品等を「厳選！鹿沼の逸品」として22品目を認定しています。

平成26年7月より、ふるさと納税の返礼品としてブランド認定品の提供を開始したことで、全国への本市のブランド品の発信が図れ、年間で約290万円と市内事業者の売り上げにもつながっています。今後、売り上げの増加や知名度の向上を図るため、PR戦略の検討をしていきます。



安全安心なまちづくりについて伺う



質 問

「防犯対策」について、防犯カメラの設置について伺う。

答 弁（市民部長）
市内4か所に新たな防犯カメラを設置します。

防犯カメラの設置について、市では平成25年2月以降、公共空間における犯罪抑止を目的に、多数の市民等が集まり、または出入りする市の施設である新鹿沼駅東西連絡自由通路及びその連絡口周辺と新鹿沼駅西口自転車駐車場、鹿沼駅前自転車駐車場と鹿沼駅前広場等の2つの区域に防犯カメラシステムを整備し、各システム6台、計12台

の防犯カメラを設置しています。

平成28年度は、これまで行ってきた2つの地区への防犯カメラシステム設置が犯罪抑止効果が見られるとともに、警察と連携した防犯活動に有効であるため、市内4か所に新たな防犯カメラを設置し、犯罪抑止対策を推進する考えです。

設置場所については、鹿沼警察署や自治会等の要望を伺いながら、市民生活の不安を払しょくでき、かつ、犯罪抑止に効果的な場所の検討を行っていきます。



島田 一衛 議員

スポーツツーリズムの
推進について伺う



答 井(教育次長) 各種イベントのリピーターを増やす等、観光誘客につなげていきます。①本大会は、市街地を往復するコースや、近年参加者が増加していることから、安全を確保するため、警察との協議により参加者数の制限をしている状況

のため、拡大は現状では難しいと考えます。国際化も公認の取得は困難ですが、海外の友好都市との連携を図り、国外の参加者を増やしたいと考えています。②東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ地誘致に向け、栃木県が作成した事前キャンプ地ガイドに鹿沼総合体育館を候補施設として掲載しています。栃木国体では、本市で卓球とバレーボールの開催が内定されています。関係機関と連携を密にし、各種イベントのリピーターを増やすなど、観光誘客につなげていきたいと考えています。



鯉原 一男 議員

反問権・反論権に
ついて伺う



質 問 市長提案の鹿沼市議会における反問権・反論権について伺う。
答 井(市長) 質問の論点が明確になり、わかりやすくなる効果が期待できます。提案した反問権と反論権の内容ですが、反問権とは、議会で質問した議員に対し、質問の趣旨や根拠、考え方などを問い返す権利で、反論権は相手の意見に対して反論する権利です。提案した意図と考えは、質問の論点が明確になり、議場で傍聴あるいは鹿沼ケーブルテレビなどで見ている市民のみならず

にとつてわかりやすくなる効果が期待できます。また、一方的な提案や批判ではなく、双方向にすることで、より活発で建設的な議論になることが期待され、より説明責任を果たすことにもつながります。鹿沼市議会基本条例第7条第2項で認められている権利は、議員の質問に対する趣旨の確認にとどまっています。議論を活性化させるためにも、根拠や考え方などを問い返す反問権、あるいは反論権の付与について、条例改正も含めて、議会改革調査特別委員会で検討していただきたいと考えています。



荒井 正行 議員

子ども・子育て支援について伺う



質 問

鹿沼市子ども・子育て支援事業計画について伺う。

答 弁（保健福祉部長）
待機児童ゼロの早期実現を目指し、計画を着実に推進します。

平成27年度の実施状況は、一つ目の「質の高い幼児期の学校教育・保育の総合的な提供」では、仁神堂幼稚園が認定こども園へ移行し、二つ目の「保育の量的拡大・確保」では、家庭保育事業等を実施するとともに民間保育園等においても204人分の定員を拡大しました。また、三つ目の「地域の子ども・子育て

の支援の充実」では、西大芦小学校内での放課後児童健全育成事業を開始しました。

課題としては、引き続き保育のニーズに対する量の確保と質の向上に向けた取り組みを実施していきます。

平成28年度から新たな事業として、生活保護世帯等を対象に、実費徴収に係る補足給付を行う事業、ひとり親世帯への支援としてファミリーサポートセンターの利用支援事業の開始を予定しています。

今後も保育園待機児童ゼロの早期実現を目指し、計画を着実に推進していきます。

鹿沼市の待機児童数

実施日 年度	4月1日現在	10月1日現在
平成27年度	0人	53人
平成28年度	0人	

※平成28年度については、見込みの人数です。

鈴木 毅 議員

災害への対応について伺う



質 問

災害時の対応で改善すべき点、災害防災センターについて伺う。

答 弁（市長、総務部長）
幸町の公園整備とあわせて検討します。

災害時の対応で改善すべき点については、鹿沼市防災会議で「地域防災計画」の修正を行い、避難所の開設がよりスピーディーに行えるよう避難所直轄職員の見直し、自治会等が指定する一時避難所の増設、要望のあったペットの同伴を認める指針など、改定を行いました。次に、高齢者や障がい者等、要配慮者への対策は、「鹿沼市避難行動要支

援者支援計画」に基づき進めています。今後も、高齢者や障がい者等が安心して避難できるよう、民間福祉施設や医療機関などと連携を図っていきます。

栃木県上都賀農業振興事務所の災害防災センターとしての再利用について、同様の要請は、既に地元自治会のみなさんからいただいています。

現時点では未定ですが、平成29年度末の栃木県上都賀合同庁舎の完成をにらみつつ、栃木県の動向も考慮しながら、その有効策について、幸町の公園整備とあわせて検討します。



谷中 恵子 議員

大貫 毅 議員

「いちご」を活用した
イメージ戦略について伺う



質 問

「いちご」を活用したイメージ戦略について伺う。

答 弁(市長)

「いちご市」のイメージ確立と魅力の向上を図ります。

平成27年度、市の統一したイメージを確立しながら、本市の様々な魅力を全国世界に発信し、選ばれる自治体を目指すため、営業戦略の指針となる「鹿沼シタイプロモーションガイドライン」の策定を進めています。ガイドラインの柱の一つにイメージ戦略があり、多くの市民が本市のイメージに相応しいと感じ

ている「いちご」を市のシンボルイメージとすることにしました。今後は、「いちご市」を宣言することを目指しながら、定着を図っていきます。

まず、「いちご」を市の果実に制定することをはじめ、イメージコピーやイメージカラー、ロゴマークの策定、「いちごの日」の設定などを進めたいと考えています。その中で、「いちご」をモチーフにしたシンボルキャラクターである「ベリーちゃん」を活用し、「いちご市」のイメージ確立と魅力の向上を図っていきます。

水道事業について伺う



質 問

下石川地区の整備状況について伺う。

答 弁(水道部長)

平成29年度には、概ね布設を完了できるような整備を進めます。

下石川地区の配水管布設要望戸数は44戸で、整備予定延長は4,720 mです。これまでに、1,523 mの整備が完了し、進捗率は32%となっています。配水管の布設位置や整備の優先度などについては、自治会との協議により計画をしました。

平成28年度末までに全体の51%にあたる2,400 mの布設を完了さ

せる予定で、この時点で23戸が給水可能となります。平成29年度には、概ね布設を完了できるような整備を進めていきます。

次に、評価と課題ですが、地下水が環境基準を超えるなど急性の高い布設要望には対応できたと考えていますが、引き続き自治会と協議をしながら完了を目指していきたいと考えています。課題としては、下石川地区が配水管の末端に位置することから、水が長時間滞留してしまつと水質に悪影響が生じます。水質維持のためにも、早い時期に水道に加入し利用してほしいと考えます。



消防団のあり方について伺う



質 問

消防団員の活動に対する勤務先の事業場、同僚の理解と協力度を推進するため施策を講じる考えはないか伺う。

答 弁(消防長)

平成19年度に、消防団協力事業所表示制度を導入しました。

事業所の消防団活動に対する理解と協力を得ることを目的に、平成19年度に消防団協力事業所表示制度を導入しました。本制度は消防団活動を通じ、地域への社会貢献を果たしている事業所を市が認定するもので、認定を受けた事業所の社会的な評価

と信頼が向上するものと考えます。また、団員が出動する際には、求めに応じて事業所に対し協力依頼書や出動証明書を発行しています。

国は被用者の入団促進として、総務大臣書簡を経済団体あてに、平成27年2月発出し、従業員及び自営消防組織構成員への入団促進と消防団活動がプラスに評価される仕組み、また、採用時の積極的な評価ということについて、各企業に働きかけをしています。そのほか鹿沼市では、入札制度に関して優遇措置を実施していますので、多くの事業所に利用していただきたいと思います。



市長の進退と市政運営の結果とを考えを伺う



質 問

市長の政治家としてのこれまでの政治的言動、実績や政党とのかかわりを検証しながら、市長の市政運営に対しての考えと市長選に臨んでの進退を伺う。

答 弁(市長)

市政に関する世論調査の結果を肝に銘じ、頑張ってください。

今の財政に危機感をもっている方は、たくさんおり、集団的自衛権や解釈改憲については、やっぱりおかしいものはおかしいと考える方は自由民主党支持者の中でも多いと思います。そういうことを考えると、一方的

に全てを決めつけ、それを非難する、しかも鉄鎚を加えるとか、そういうことを平然と言う神経が私にはちよつと理解できません。

「市政に関する世論調査」のなかで青少年の健全育成という項目があります。「他人に迷惑をかけない」「礼儀作法を身につける」「思いやりの心」「異なる意見を尊重する」などを多くの方が重要と考えています。子供たちの手本であるべき佐藤議員ですから、そういったことも十分心して、しっかりと生きていただきたいと思います。



人事

(敬称略)

■本会議で人事が決まりました。

鹿沼市政治倫理審査会委員

- 田島 二三夫 (たじまふみお・宇都宮市豊郷台)
- 上原 昭夫 (うえはらあきお・坂田山)
- 山崎 晴美 (やまざきはるみ・府中町)
- 渡邊 義正 (わたなべよしまさ・見野)
- 木嶋 孝太 (きじまこうた・栄町)
- 福田八重子 (ふくだやえこ・口栗野)
- 高田 悦夫 (たかだえつお・上日向)

▶用語解説「政治倫理審査会」

政治家の倫理を審査するために日本の国会の両院及び地方議会に置かれる委員会的組織である。

特別委員会の設置

定例会で特別委員会を設置しました。

委員会が付託された調査事項について、今後検討していきます。

◇市行政推進調査特別委員会 (定数24人)

委員長	船生 哲夫
副委員長	大貫 武男
委員	全議員
付託調査事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 総合計画と行財政改革について 2. 保健・福祉施策の推進について 3. 産業振興施策の推進について 4. 環境対策の推進について 5. 都市計画施策の推進について 6. 教育文化施策の推進について 7. 上下水道の整備について

請願・陳情はこんな方法で

請願・陳情とは、市政全般について議会に実情の善処を要望することです。

そのうち議員の紹介があるものは請願になります。

A 4版、署名または記名押印して提出してください。

※注意事項

- ①鹿沼市の権限内の事務に限ります。
- ②要旨や理由は簡潔に記入してください。
- ③道路・水路等は地図または略図を添付してください。

意見書の提出

議員案として可決し関係機関に送付しました。

■議員案第2号 森林吸収源対策に係る安定財源確保及び山村振興対策の推進を求める意見書の提出について

森林吸収源対策に係る安定財源確保及び山村振興法に基づく山村振興対策の推進を図るべく、国会及び政府に対し意見書を提出し、下記事項を実現するよう強く要望します。

- 1 地球温暖化防止対策に不可欠な森林吸収源対策の推進を図るため、「地球温暖化対策のための税」の使途に森林吸収源を追加する等、森林整備推進等のための安定財源を確保すること。
- 2 地域振興・山村振興に向けて、森林等の保全の推進並びに山村における産業基盤及び生活環境の整備の促進を図るとともに、定住を促進するため、地域の中小企業における受注機会の増大、所得の向上に向けた支援、雇用の拡大・改善を行う企業に対する支援等必要な方策を講じること。

請願書

紹介議員 今宮 三男
氏名 鹿沼 太郎

件名 ○○○○について
 要旨 ○○○○の△△に関する
 ××を要望します。
 理由 □□□□□□□□
 □□□□□□□□
 □□□□□□□□
 □□□□□□。

平成○年○月○日
 鹿沼市議会議長様

請願人代表
 鹿沼市○○町○○番地○
 鹿沼 太郎 ㊟

市長提出議案41件、議員提出議案2件が提出されました。
議員数24名、表決参加議員数23名（議長は表決には加わりません。）

賛否の分かれた議案

議案21 鹿沼市議会議員の議員報酬および費用弁償等に関する条例の一部改正
人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定に準じ、市議会議員の期末手当の額を引き上げるためのものです。



賛
成

反
対

【公明党】荒井正行・鈴木敏雄
【風雲】市田 登・谷中恵子・津久井健吉・増淵靖弘
赤坂日出男・橋本正男
【経世会】館野裕昭・小島 実・湯澤英之・関口正一
【民主党】島田一衛・大貫毅
【無所属市民の会】大島久幸・大貫武男・船生哲夫
【日本共産党】阿部秀実
【無所属】加藤美智子

【風雲】鈴木 毅・佐藤 誠
【無所属】石川さやか・鵜原一男

全議員が賛成した議案（可決）

平成
28
年
度
予
算

- 議案1 平成28年度鹿沼市一般会計予算
(14ページをご覧ください。)
- 議案2 平成28年度鹿沼市国民健康保険特別会計予算
予算総額を124億5,940万円とします。
- 議案3 平成28年度鹿沼市公共下水道事業費特別会計
予算
予算総額を25億470万円とします。
- 議案4 平成28年度鹿沼市簡易水道事業費特別会計予
算
予算総額を2億6,250万円とします。
- 議案5 平成28年度鹿沼市公設地方卸売市場事業費特
別会計予算
予算総額を2,080万円とします。
- 議案6 平成28年度鹿沼市農業集落排水事業費特別会
計予算
予算総額を2億2,180万円とします。
- 議案7 平成28年度鹿沼市介護保険特別会計予算
予算総額を73億9,980万円とします。
- 議案8 平成28年度鹿沼市後期高齢者医療特別会計予
算
予算総額を9億7,210万円とします。
- 議案9 平成28年度鹿沼市財産区管理会特別会計予算
予算総額を586万円とします。
- 議案10 平成28年度鹿沼市水道事業会計予算
収益的収入及び支出は、収入総額を14億1,029万6千円、支出
総額を12億371万6千円とし、資本的収入及び支出は、収入総
額を5億8,809万7千円、支出総額を11億7,422万7千円とし
ます。

平成
27
年
度
補
正
予
算

- 議案11 平成27年度鹿沼市一般会計補正予算(第5号)
補正額を6億9,444万6千円の増とし、予算総額を460億3,844
万1千円とします。
- 議案12 平成27年度鹿沼市国民健康保険特別会計補正
予算(第3号)
補正額を5,188万円の増とし、予算総額を134億9,798万2千円
とします。
- 議案13 平成27年度鹿沼市公共下水道事業費特別会計
補正予算(第2号)
補正額を4,793万9千円の減とし、予算総額を24億7,619万7
千円とします。
- 議案14 平成27年度鹿沼市簡易水道事業費特別会計補
正予算(第2号)
補正額を642万9千円の減とし、予算総額を2億6,932万2千
円とします。
- 議案15 平成27年度鹿沼市介護保険特別会計補正予算
(第3号)
補正額を662万7千円の増とし、予算総額を74億8,742万7千
円とします。
- 議案16 平成27年度鹿沼市後期高齢者医療特別会計補
正予算(第3号)
補正額を445万1千円の減とし、予算総額を9億4,202万4千
円とします。
- 議案17 平成27年度鹿沼市財産区管理会特別会計補正
予算(第2号)
補正額を484万4千円の減とし、予算総額を143万3千円とし
ます。



計画策定

議案18 辺地に係る総合整備計画の策定
平成28年度から平成33年度までに予定する辺地内の公共的施設の整備に必要な財源を確保するため、それぞれの辺地に係る総合整備計画を策定するためのものです。

条例制定

議案19 鹿沼市消費生活センター条例の制定
消費者安全法の一部改正に伴い、鹿沼市消費生活センターの組織及び運営等について定めるためのものです。

議案33 鹿沼市企業非常勤職員の給与の種類及び基準に関する条例の制定
企業職員で常時勤務を要しない者の給与の種類及び基準を定めるためのものです。

議案20 鹿沼市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例及び鹿沼市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正
地方公務員法の一部改正に伴い、職員の退職管理及び人事評価の公表並びに給料表の等級ごとの標準的な職務の内容について定めるためのものです。

議案22 鹿沼市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
鳥獣被害対策実施隊員、地域おこし協力隊員及び被保護者就労支援員の報酬の額を定めるためのものです。

議案23 鹿沼市長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正
人事院勧告に基づく国家公務員の給与改正に準じ、市長、副市長及び教育長の期末手当の額を引き上げるためのものです。

条例の一部改正

議案24 鹿沼市長等の給与の特例に関する条例の一部改正
平成28年4月から平成29年3月までの期間、市長、副市長及び教育長の給料月額について、それぞれ100分の5に相当する額を減額するためのものです。

議案25 鹿沼市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正
人事院勧告に基づく国家公務員の給与改正に準じ、一般職の職員の給料表及び勤勉手当の額を引き上げるためのものです。

議案26 鹿沼市議会議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正
地方公務員災害補償法施行令の一部改正に伴い、年金たる補償及び休業補償の対象となる事由について、他の法令による補償等がある場合における調整率の見直し等を行うためのものです。

議案27 鹿沼市税条例の一部改正
市民税及び特別土地保有税の減税に係る申請書の記載事項から、個人番号を削除するためのものです。

議案28 鹿沼市固定資産評価審査委員会条例の一部改正
行政不服審査法の施行に伴い、評価額の不服についての審査申出に係る手続の見直し等を行うためのものです。

条例の一部改正

議案29 基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部改正
平成27年度をもって東日本大震災復興推進基金を廃止するためのものです。

議案30 鹿沼市子ども医療費助成に関する条例の一部改正
子ども医療費助成における現物給付の対象を中学校修了前の子どもまで拡大するためのものです。

議案31 鹿沼市農業委員会の農地部会等の委員の定数に関する条例の一部改正
農業委員会等に関する法律の一部改正に伴い、部会の委員の定数に関する規定及び引用する同法の条項を整理するためのものです。

議案34 鹿沼市火災予防条例の一部改正
ガスグリドル付こんろの設置に係る火災予防上安全な距離等を定めるためのものです。

条例廃止

議案32 鹿沼市五月ロジ条例の廃止
施設の老朽化に伴い、五月ロジを廃止するためのものです。

人事

議案35～41 鹿沼市政治倫理審査会委員の委嘱
(11ページをご覧ください。)

議員提出議案

議員案 1 市行政推進調査特別委員会の設置
(11ページをご覧ください。)

議員案 2 森林吸収減対策に係る安定財源確保及び山村振興対策の推進を求める意見書
(11ページをご覧ください。)



鹿沼市や私たちの暮らしに関係することが議会で決定しました！

～笑顔あふれるやさしいまちづくり～
新年度の予算が決定しました。

■議案第1号 平成28年度鹿沼市一般会計予算について

387億1,000万円、対前年比7.3パーセント減の「着実型予算」となっています。こども医療費助成に係る現物給付対象年齢を中学校修了前までへの拡大、市内中学校へのエアコン設置事業、児童保育施設及び認定こども園の整備支援などを重点的に取り組むほか、新規事業として、地域おこし協力隊の活動支援、介護保険施設の整備支援などに係る経費を計上し、教育、福祉の充実や都市基盤の整備促進を図ります。



～こども医療費助成制度が変わります。～
現物給付対象年齢が中学校修了前まで拡大しました。

■議案第30号 鹿沼市こども医療費助成に関する条例の一部改正について

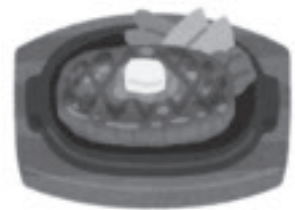
平成28年4月1日以降、現物給付対象年齢が小学校就学前から中学校修了前まで拡大となりました。栃木県内の医療機関等で受診する場合、受給資格者証（ピンクまたはオレンジ色のカード）と子供の加入している健康保険証を、医療機関等の窓口に表示することで、保険診療分が無料になります。（※4月1日生まれの方は、15歳の誕生日の前日までが対象となります。）



～火災予防上の安全な距離等を～
ガスグリドル付こんろを追加しました。

■議案第34号 鹿沼市火災予防条例の一部改正について

家庭用ガス燃焼機器のJIS規格に「ガスグリドル付こんろ」が追加され、鹿沼市火災予防条例に可燃物等との間に設けるべき火災予防上安全な距離を追加しました。また、IH調理器の最大出力入力値を5.8kWh以下に引き上げました。（※当該機器に係る離隔距離については、鹿沼市火災予防条例の別表第1をご覧ください。）



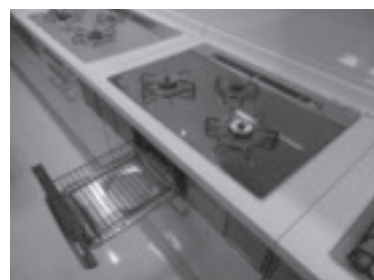
▶用語解説「グリドル付こんろ」

直火によって加熱したプレートによって、主として伝導熱で調理する機器
主たる調理メニュー・・・魚焼き、肉料理 他



▶用語解説「グリル付こんろ」

直火によって主として放射熱で調理する機器
主たる調理メニュー・・・魚焼き



委員会等の活動報告

環境クリーンセンター-基幹的設備改良工事内覧会

約2年間にわたり実施してきた鹿沼市環境クリーンセンターの大規模改修工事が完了し、平成28年3月17日に開催された完成内覧会に出席しました。この工事によって発電設備や省エネ機器が設置され、環境に配慮した施設に生まれ変わったことを担当職員から説明を受けました。

～主な工事の内容～

1. 3つの焼却炉を2つに改良し、最新機器を導入。
2. ごみから電気をつくるため新たなボイラ、小型発電機を設置。
3. 排ガス処理機器形式を変更し、大気汚染物質の排出を抑制。
4. 24時間連続運転に変更し、焼却炉の起動停止燃料を削減。
5. 発電、燃料使用量削減、高効率機器の採用により、CO₂排出量を20%以上削減。



議会改革調査特別委員会の中間報告

鹿沼市議会において、監査委員の議案質疑・一般質問は慣例により控えてきた経緯があります。監査委員である議員が質問等を行う際の指針について協議しましたので、その結果を議長に宛てて中間報告しました。

1 監査委員の質問について

監査委員である議員が質問をする際は、自己の責任において、地方自治法第198条の3第2項に規定する「秘密」に該当する事項及び、鹿沼市情報公開条例の非開示事項に該当する事項には細心の注意を払うとともに、監査委員としての職務を円滑に行うための努力をするものとする。



全国から行政視察を受け入れています。

毎年、全国各地の地方議員が、調査・研究のために鹿沼市を訪れています。

鹿沼市議会では、本市の特色ある施策や施設を全国に向け発信する貴重な機会ととらえ、積極的に行政視察の受け入れを行っています。平成27年度は10市町の議会議員を鹿沼市にお迎えしました。

団体	視察目的
佐賀県唐津市	ごみ焼却処理施設の長寿命化について
富山県高岡地区広域圏事務組合議会	結婚対策事業の取り組みについて
佐賀県唐津市	まちの駅「新・鹿沼宿」について
埼玉県吉川市	まちの駅「新・鹿沼宿」について
愛知県江南市	消防団充実強化ビジョンについて
長崎県諫早市	建築確認・開発許可事務について
愛知県知立市	バイオマス発電事業について
千葉県君津市	まちの駅「新・鹿沼宿」について
徳島県吉野川市	麻作りについて
三重県菰野町	まちの駅「新・鹿沼宿」について 鹿沼ウッドインフィルについて



議員、随行併せて73名の受け入れをしました。

議会からの お知らせ

麻の栽培復活を目指して来鹿

徳島県吉野川市議会より8名の行政視察を受け入れました。吉野川市はかつて「麻植郡（おえぐん）」と呼ばれ、皇室に麻布を献上したこともあり麻の生産とゆかりの深い地域でした。吉野川市では市版総合戦略の素案に麻農業の振興を加え、途絶えてしまった麻の栽培復活を目指しています。当日は永野コミュニティセンターを会場に、あさ振興協議会、栃木県上都賀農業振興事務所、市農政課の方を招いて、視察研修を実施しました。鹿沼市の麻づくりの歴史、栽培から加工に至る工程、無毒麻「とちぎしろ」の品種育成、種子の供給体制等の説明を受けた後、協議会会長のご自宅で実際に使用している農具等を見せていただきました。



議会カレンダー ～議会を傍聴しませんか～

6月	7月					
月	火	水	木	金	土	日
6/27	28	29	30	7/1	2	3
10:00 議会運営委員会						
4	5	6	7	8	9	10
10:00 本会議(第1日) 提出議案の説明						
11	12	13	14	15	16	17
		9:00 議会運営委員会 10:00 本会議(第2日) 議案質疑・一般質問	10:00 本会議(第3日) 議案質疑・一般質問	10:00 本会議(第4日) 議案質疑・一般質問		
18	19	20	21	22	23	24
		10:00 総務常任委員会 環境経済常任委員会	10:00 文教民生常任委員会 建設水道常任委員会			
25	26	27	28	29	30	31
9:00 議会運営委員会 10:00 本会議(第5日) 採決						

※なお、正式な日程は議会運営委員会で決定します。詳細は議会ホームページまたは議会事務局までお問い合わせください。(電話63-2203)

本会議の動画配信をしています。

動画配信サイトYOUTUBEで本会議の映像を録画配信しています。鹿沼市ホームページの「市議会」バナーより入り、ご覧になりたい内容をクリックしてください。



表紙の写真は

横根高原は前日光県立自然公園内に位置し、その一部である井戸湿原は、多くの種類の高山植物が生育する花の宝庫です。横根山及び井戸湿原を中心としたハイキングコースでは四季折々の植物に出会うことができ、春から秋にかけてすばらしい景観が楽しめます。晴れた日には、象の鼻展望台から関東平野が一望できます。

(画像提供：鹿沼市観光交流課)